

平成 23 年 3 月

各 位

日本ベンチャーキャピタル協会  
会長 呉 雅俊

## 「JVCA ベンチャーキャピタリスト育成事業」 研修講座(春季集中コース)開講に関するご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当会業務につきましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当会では皆様のご要望にお答えし、ベンチャーキャピタリストの育成を目的とする「JVCA ベンチャーキャピタリスト育成事業」研修講座(集中コース)を開講する運びとなりました。本研修講座は、平成 14 年度、経済産業省より委託を受け、株式会社富士総合研究所(現 みずほ情報総研株式会社)と共同で実施した「ベンチャーキャピタリスト人材能力開発プログラム開発・実証事業」の成果を活用したものです。ベンチャーキャピタリストに求められる知識・スキルの習得・向上を目的とする講座であり、皆様のスキルアップのためにご活用頂ければとご案内申し上げる次第です。

本研修講座の詳細については、「別紙」をご参照下さい。本研修講座受講の申込は、添付の「申込用紙」に必要事項を記入の上、ご返送下さい。

なお、「申込用紙」の締め切りは、**5月6日(金)必着**とさせていただきます。

また、本研修講座はケースメソッド方式での定員制を採っておりますので、申込は先着順で受付し、定員 30 名になり次第、締め切らせて頂きます。なお、申込者が 10 名に満たない場合は、ケースメソッド方式での講座運営が困難であるため、実施を見送らせて頂く可能性があります。

ご多忙の折、誠に恐縮ではございますが、趣旨をご理解の上、本研修講座をご活用いただければ幸甚に存じます。

最後になりましたが、皆様の益々のご発展を祈念致します。

敬 具

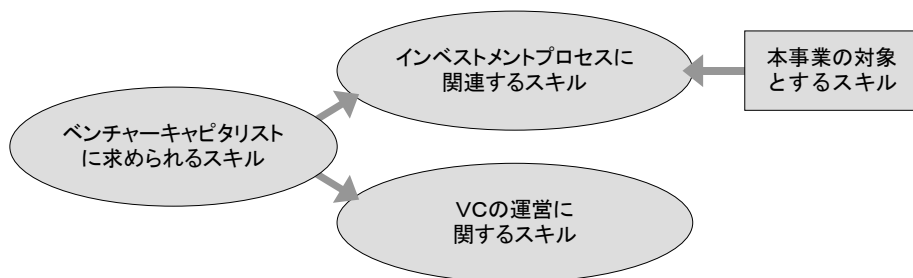
### 【お問い合わせ先】

一般社団法人 日本ベンチャーキャピタル協会 企画部  
〒105-0004 東京都港区新橋 1-1-1  
TEL:03-3595-6616 FAX:03-3595-6617  
E-mail: jimukyoku@jvca.jp  
担当: 上原、矢口

# 研修講座の概要

## 1. 研修講座の主要対象領域

本研修講座は、VCの投資業務担当者としてのスキル向上を主眼に置いています。したがって、ベンチャーキャピタリストに求められるスキルは多岐にわたりますが、本研修講座では主にインベストメントプロセスに関連するスキルの向上に重点を置きます。



## 2. 講座内容

本研修講座は、全 8 回の授業で構成されております。各授業の内容は以下の通りです。

	テ ー マ	内 容
第 1 回	ベンチャーキャピタルの仕組みとベンチャーファイナンス	VC がどのようなビジネスモデルに基づいて成り立っているのか、通常どのような投資手法を通じて投資を実施しているのかを概観する。また、ベンチャー企業のファイナンスソース(資金調達源)の中に占めるVCの資金の位置付けを理解する。デットとエクイティの根本的な差を理解し、VCの資金の意義を理解する。
第 2 回	デューデリジエンス&バリュエーション ①投資機会の検討	投資対象先のビジネスプランを評価し、投資の検討を進めるか否かについて検討する。ビジネスプランの評価に際しての目の付け所やデューデリジエンスの方法を学習する。
第 3 回	デューデリジエンス&バリュエーション ②バリュエーション	投資を検討する際に利用されているベンチャーキャピタルメソッドを習得する。また、投資に使用される証券・優先株の意義を理解する。
第 4 回	デューデリジエンス&バリュエーション ③総合(バイアウト)	バイアウトのケースを題材に、デューデリジエンスの重要性とキャッシュフローをベースにしたバリュエーションの手法を学習する。
第 5 回	ディールストラクチャー	VCの投資契約についての理解を深める。投資契約書の主要項目について学習し、各要項がVC投資のリスクを軽減する上で、どのような機能を果たし得るのかについて理解する。
第 6 回	付加価値サービス	VCの付加価値活動について理解する。資金提供だけに留まらないVCの付加価値サービス(取締役会を通じたモニタリング、戦略立案の支援、追加資金の調達、人材の補強など)について理解を深める。
第 7 回	投資回収(Exit) ①IPO	IPOによる投資回収に関して、主要な点を理解する。様々なステークホルダーの利益を調整しながら、投資利益を確保することの難しさを認識する。
第 8 回	投資回収(Exit) ②Trade Sales	Trade Salesによる投資回収に関して、主要な点(M&Aの考え方、IPOとTrade Salesの長短、現金買収と株式交換の長短など)を理解する。ベンチャー企業の経営者とベンチャーキャピタリストの微妙な関係(投資回収・EXITにおける思惑の差)を認識する。

### 3. 講義形式

本研修講座は、主としてケースメソッド方式で行います。ケースメソッドとは、詳細な状況設定とデータが与えられたケースを題材に、主人公の立場から与えられた課題を検討する学習手法です。実際のビジネスの現場における意思決定プロセスをシミュレートすることができるため、より実践効果が高いとされています。

ケースメソッド方式では、課題について講師や他の受講者と議論を行い、様々な考え方を理解することが重要になります。したがって、事前にケースを熟読し、課題に対する回答を提出した上で、講義に臨むことが前提となります。

また、講義時間は講師や他の受講者と議論をする場にあてられるため、基礎的な知識に関するレクチャーは行いません。従って、これらの点については、「事前学習のポイント」(後述)をご参照頂き、事前に配布する教材やMBA関連テキスト等で、あらかじめ独習して頂くよう心がけてください。

### 4. 受講対象者

#### (1) 受講対象者の属性

本研修講座は、「ベンチャーキャピタリスト経験の無い方から、2～3年程度投資業務の実務を経験したベンチャーキャピタリストまで」を主対象としています。

#### (2) 事前学習のポイント

本講座の受講にあたっては、事前に配布する教材や関連テキスト等で独習し、「企業経営等の基本的な知識を有し、関連する基礎的スキルを身に付けていること」が前提になります。事前学習のポイントについては、以下をご参照下さい。

#### 【事前学習のポイント】

##### ①ファイナンス・アカウンティング

- ROE、ROA、PBR などの基本的な財務分析についての知識
- FCF、WACC、PER、PSR、EBIT、EBITDA など、企業価値評価の前提となる指標についての知識
- DCF、マルチプル、APV などの一般的な企業価値評価手法についての知識

##### ②マネジメント

- 競争戦略、事業戦略、SWOT分析、3C分析、マーケティング戦略など、企業のマネジメントに関する一般的な手法についての知識

##### ③法務

- 議決権、強制転換、希薄化防止、ストックオプションなど、タームシートに記される基本的な条項についての知識

## 5. スケジュール

本研修講座の日程は下記の通りです。

### 【日程】

6月2日(木)から5日(日)の4日間で開講致します。開講時間は原則、午前は9:30~12:30、午後は14:00~17:00です。日程の詳細については、下表をご参照下さい。(6月2日のみ午前は9:00~12:30です)

	日付	テーマ
第1回	6月2日(木)午前	「ベンチャーキャピタルの仕組みとベンチャーファイナンス」
第2回	6月2日(木)午後	「デューデリジェンス&バリュエーション ①投資機会の検討」
第3回	6月3日(金)午前	「デューデリジェンス&バリュエーション ②バリュエーション(企業価値評価)」
第4回	6月3日(金)午後	「デューデリジェンス&バリュエーション ③総合(パイアウト)」
第5回	6月4日(土)午前	「ディールストラクチャー」
第6回	6月4日(土)午後	「付加価値サービス」
第7回	6月5日(日)午前	「投資回収(Exit) ①IPO」
第8回	6月5日(日)午後	「投資回収(Exit) ②Trade Sales」

### 【募集定員】

本研修講座の募集定員は、30名とさせて頂いております。募集定員を設定している都合上、期日前に応募を締め切る場合もございますので、予めご了承下さい。

### 【注意事項】

受講申込者が10名に満たない場合は、ケースメソッド方式での講座運営が困難であるため、実施を見送らせて頂く可能性がありますので、予めご了承下さい。

## 6. 講師のプロフィール

本研修講座の講師は、VC 業界の中でも一線でご活躍されている有志の方々をお願いしております。各回の講師のプロフィールについては、下表をご参照下さい。

	テ ー マ	講 師	プロフィール
第 1 回	ベンチャーキャピタルの仕組みとベンチャーファイナンス	秦 信行 (國學院大學)	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 早稲田大学大学院経済学研究科修士課程修了後、株式会社野村総合研究所入社。</li> <li>➤ 日本合同ファイナンス株式会社(現株式会社ジャフコ)に出向後、審査部長、海外審査部長などを歴任。</li> <li>➤ 現 國學院大學経済学部教授。専門はベンチャーファイナンス、コーポレートファイナンス。</li> </ul>
第 1 回	(ゲストスピーカーセッション) 「Venture Capital という Business Model は生き残れるか？」	樋原伸彦 (立命館大学)	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 1988 年東京大学教養学部教養学科(国際関係論)卒業、東京銀行(現三菱東京 UFJ 銀行)を経て、2002 年コロンビア大学 Ph.D.</li> <li>➤ 2002 年より 2006 年まで、Edwards School of Business, University of Saskatchewan(カナダ)准教授。</li> <li>➤ 2006 年より立命館大学経営学部准教授(現在同大学テクノロジー・マネジメント研究科にも併属)、VC、Financial Intermediation(金融仲介論)を専門とする。</li> </ul>
第 2 回	デューデリジエンス & バリュエーション ①投資機会の検討	松澤芳邦 (三菱 UFJ キャピタル)	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 1994 年慶應義塾大学法学部卒業、三菱銀行(現三菱東京 UFJ 銀行)入行。神保町、深川支店にて融資業務に従事。</li> <li>➤ 1998 年、東京三菱証券(現三菱 UFJ 証券)に出向。金融法人向け債券トレーディング業務に従事。</li> <li>➤ 2003 年、ダイヤモンドキャピタル(現三菱 UFJ キャピタル)に出向。ベンチャー企業に対する投資育成業務に従事し、33 社に投資を実施。現在、投資第一部副部長。</li> </ul>
第 3 回	デューデリジエンス & バリュエーション ②バリュエーション	有本雄観 (日本アジア投資)	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 1998 年、日本アジア投資株式会社入社。投資本部大阪支店に配属以来、東京・大阪の投資チームで VC 投資業務、およびファンドの設立・運営業務に従事。現在、アドバンスドテックファンドチーム ゼネラルマネージャー。</li> <li>➤ 主な投資分野は、Green Tech 関連、IT 関連。</li> <li>➤ 通算 10 社、現在 1 社の社外取締役役に就任。</li> <li>➤ 1998 年、早稲田大学法学部卒。</li> </ul>

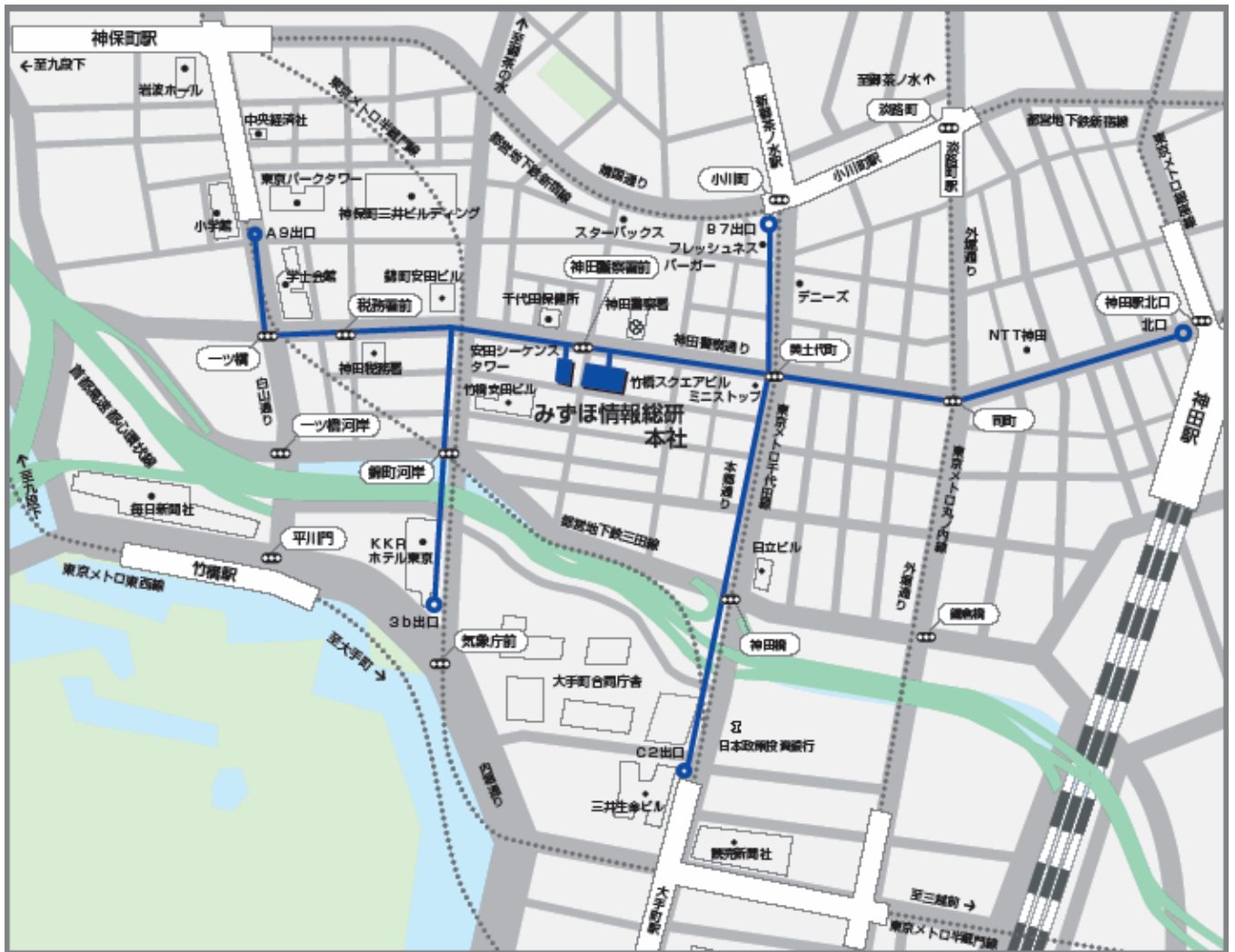
第3回	(ゲストスピーカーセッション) 「公開価格決定プロセス の実際」	阿部夏朗 (Y's & partners)	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 1998年 東京工業大学工学部経営システム工学科卒業 アンダーセン・コンサルティング (現、アクセンチュア) 入社 (プロセス部門、経営戦略部門)</li> <li>➤ 2002年 (株)リストテック入社 経営企画室長として IPO 準備等に従事 (2004年東証マザーズ上場) その後、ピザ宅配事業 (PIZZA SALVATORE) の立ち上げに従事。</li> <li>➤ 2004年 夢の街創造委員会(株)入社 副社長として、営業部門、管理部門、経営企画部門を担当。(2006年大証ヘルクス上場)</li> <li>➤ 2008年 (株)Y's&amp;partners に参加。代表取締役社長 ITベンチャー、飲食店、美容院、生花店等、業種やスキームに拘らない事業投資、再生事業を行う。</li> </ul>
第4回	デューデリジェンス &バリュエーション ③総合 (バイアウト)	玉澤康一 (大和企業投資)	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 1997年、山一証券入社。大阪資本市場部にて上場企業向け各種ファイナンス提案業務に従事。</li> <li>➤ 1998年、日本インベストメント・ファイナンス(株) (現大和企業投資(株)) 入社、ベンチャーキャピタル投資 12社、バイアウト投資 5社を担当。</li> <li>➤ 現在バイアウト投資先2社の社外取締役に就任。</li> <li>➤ 1997年、一橋大学経済学部卒。</li> </ul>
第5回	ディールストラクチャー	池上重輔 (早稲田大学)	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 職歴：ボストンコンサルティンググループ、マスターフーズ (M&amp;M MARS 社) にてブランドマネージャー、GE (ゼネラル・エレクトロニクス) ヨーロッパにてプロダクト・マネージャー、ソフトバンク EC ホールディングスにて新規事業統括部のディレクター (ソフトバンクでは米国企業との合弁で立ち上げた法人向けサービス会社で取締役 COO として立ち上げから清算業務までを行う)、ニッセイ・キャピタルにてチーフベンチャーキャピタリスト。</li> <li>➤ 現職：早稲田大学大学院商学研究科の客員准教授、ニッセイ・キャピタルのエグゼクティブアドバイザーなど。</li> <li>➤ 学歴：英国ケンブリッジ大学経営大学院にて MBA、英国ケント大学大学院国際関係論 MA、英国シェフィールド大学大学院にて国際政治経済学の MA を取得。</li> <li>➤ 主著：『日本のブルー・オーシャン戦略：10年続く優位性を築く』 (ファーストプレス)、『『MBA 事業計画書』 (綜合法令出版)、『MBA の基本がおもしろいほどわかる本』 (中経出版、『マーケティングの実践教科書：実務入門』 (日本能率協会マネジメント) など、寄稿多数。</li> </ul>

<p>第5回</p>	<p>(ゲストスピーカーセッション) 「Due Diligence &amp; 投資契約」</p>	<p>後藤勝也 (AZX Professionals Group)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 1993年 司法試験合格 1994年 東京大学法学部卒業 アンダーセン・コンサルティング(現、アクセンチュア)入社(経営戦略部門) 1996年 司法研修所入所 1998年 長島・大野法律事務所(現、長島・大野・常松法律事務所)入所 2001年 AZX Professionals Group 創設。</li> <li>➤ 弁護士として、ベンチャー企業及びベンチャーキャピタルへの法務アドバイザー業務、ファイナンス及び M&amp;A のスキーム構築、証券会社の IPO にかかる法務 DD 等、ベンチャー企業を中心に、リーガルサービスを提供。</li> </ul>
<p>第6回</p>	<p>付加価値サービス</p>	<p>近藤直樹 (アント・キャピタル・パートナーズ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 米国 NY の法律事務所を経て、日米のベンチャー企業の副社長、COO を歴任。</li> <li>➤ 2001年アントファクトリージャパン(現アント・キャピタル・パートナーズ)に参画、経営企画担当ヴァイスプレジデントに就任。リテール、メディア、コミュニケーション、ITセクターで PE/V C 投資を手がける。現在は、同社のパートナー。バリオセキュア・ネットワークス株式会社代表取締役 CEO も務める。</li> <li>➤ 米ジョージタウン大学ビジネススクール、米アメリカン大学ロースクール卒。ニューヨーク州弁護士・米国法学博士。</li> </ul>
<p>第7回</p>	<p>投資回収 (Exit) ①IPO</p>	<p>仮屋蘭聡一 (グロービス・キャピタル・パートナーズ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 株式会社三和総合研究所でのコンサルティング、株式会社グロービスのベンチャーキャピタル事業設立を経て、1999年より、エイパックス・グロービス・パートナーズ(現グロービス・キャピタル・パートナーズ)パートナー。</li> <li>➤ 慶應義塾大学法学部卒、米国ピッツバーグ経営大学院修士課程修了(MBA)。</li> <li>➤ デジタルメディア、IT サービス、ソフトウェア関連の投資を担当。</li> <li>➤ 著書：『ケースで学ぶ起業戦略』(日経 BP社)、『MBA ビジネスプラン』(ダイヤモンド社)、『ベンチャーキャピタリストが語る起業家への提言』(税務研究会)など。</li> </ul>
<p>第8回</p>	<p>投資回収 (Exit) ②Trade Sales</p>	<p>深沢 英昭 (東京海上キャピタル)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 1978年日本長期信用銀行(現新生銀行)入行</li> <li>➤ 1980年代半ばから M&amp;A アドバイザリー業務、事業再生業務に一貫して従事。</li> <li>➤ 1999年日本興業銀行(現みずほコーポレート銀行)に転職。興銀・みずほ証券で M&amp;A アドバイザリー業務を続ける。</li> <li>➤ 2004年東京海上キャピタルにマネージングパートナーとして参画。2005年6月に取締役社長に就任し、現在に至る。</li> <li>➤ 投資先である、バーニーズ・ジャパン、昭和薬品化工、武州製薬各社の社外取締役</li> <li>➤ 日本プライベート・エクイティ協会理事</li> <li>➤ 東京大学経済学部卒業、シカゴ大学経営大学院終了 MBA</li> <li>➤ 共著：『プライベート・エクイティ 強者の条件』(日経 B P社)</li> </ul>

## 7. 講座開設場所

本研修講座は、みずほ情報総研株式会社本社ビル(東京都千代田区神田錦町 3-1 安田シーケンスタワー)にて開催致します。詳細については、下の地図をご参照下さい。

### 【講座開設場所（地図）】



## 8. 受講料

本研修講座の受講料は、360,000円(税込み、教材費等を含む)となっております。申込用紙を受領後、請求書を発送させていただきますので、所定の口座にお振り込み下さい。

以上



「JVCA ベンチャーキャピタリスト育成事業」  
 研修講座（集中コース） 申込用紙

本研修講座の受講を希望される場合には、本申込用紙にご記入の上、**5月6日(金)まで**に、下記宛先までご返送願います。(E-mail、FAXでも可。企業単位でのお申込みをご希望される場合は、事前にお問い合わせ下さい。)

なお、本申込用紙への記載事項については、本研修講座の円滑な運営を図るために活用するものであり、同目的外で使用することは一切ございません(記載事項に含まれる個人情報については、ご本人の同意がある場合を除き、第三者に情報提供することはありません)。

【申込用紙送付先】 一般社団法人 日本ベンチャーキャピタル協会 企画部  
 〒105-0004 東京都港区新橋 1-1-1  
 TEL:03-3595-6616 FAX:03-3595-6617  
 E-mail: [jimukyoku@jvca.jp](mailto:jimukyoku@jvca.jp) 担当：上原、矢口

■参加者の基本情報:

注記のない限り、全ての項目を記入、又は、該当する選択肢の□に×を付けてください。

氏名	フリガナ	性別	□男性 □女性			
	(氏)					(名)
E-mail	生年月日		西暦	年	月	日
勤務先	(企業名)					
	(部署名)	(役職名)				
	(住所) 〒					
	(電話番号)	(ファクシミリ)				
教材の送付希望先	□上記勤務先への送付を希望		□その他の住所への送付を希望			
教材等の送付先情報 【勤務先以外の住所への送付を希望する方のみ】	(住所) 〒					
	(電話番号)	(ファクシミリ)				
ベンチャーキャピタリストとしての投資業務の実務経験年数	年	ヶ月				
特記事項						

■講座運営に関わる上記基本情報の第三者提供についての承認:

講座運営は、育成プログラムの共同開発者であり、当会の賛助会員でもある みずほ情報総研株式会社 にその一部を委託しております。一方、個人情報保護法の施行により、教材送付や課題の連絡、講義中に開催を予定しているグループワークのためのグループ編成、出欠確認、その他の諸連絡等、円滑な講座運営を目的とした みずほ情報総研株式会社 への上記基本情報の提供については、ご本人の同意が必要となっております。つきましては、趣旨をご理解の上、同意いただける場合は、下記の□に×(承認印に代替するチェック)を付けてください。

円滑な講座運営を目的とした「みずほ情報総研(株)」への上記基本情報の提供について同意します。

■今後 JVCA や運営会社から研修案内等を直接上記メールアドレス等に送付することについて

希望する  希望しない 左記の□に×(承認印に代替するチェック)を付けてください。